



およその大きさ 45×35×25cm

**形の特ちょう (ニックネーム)**

黒い斑紋

**色の特ちょう**

・風化物でおおわれて、岩石の色は解らない。大きな黒い斑点が目につく

**表面の特ちょう**

・2～3cmの黒色物質が多数みられる斜光線で多断面が同時に光る(劈開面) → 1個の大きな結晶

\*石材名：黒御影(くろみかげ)

**側面の特ちょう**

・特に表面と側面の差異はない

**含まれているもの**

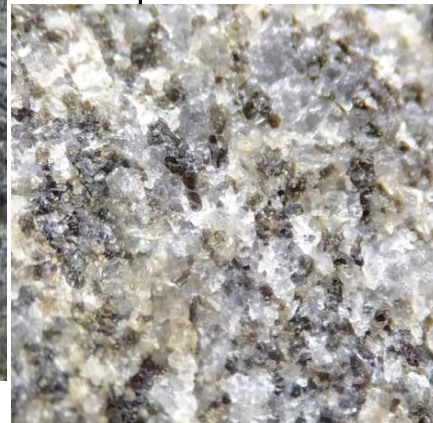
・表面に見える1つの大きな結晶は、劈開角が120度前後あるから角閃石と考えられる(90度前後なら輝石)

**その他の特ちょう**

・一部破断  
↓  
等粒状組織



大きな黒色物質 (2つの劈開面が見える) ↑



メモ

**【観察メモ】**

・**ポイキリティック組織**：等粒状組織の中にできている大きな角閃石は、他の鉱物をも取り込んで大きく成長したもので、この構造はポイキリティック組織と呼ばれている。大きな鉱物の結晶中に別の種類の鉱物が含まれている状態を指している

岩石名

斑れい岩 (深成岩)